



# ほむる

建設的な生き方へのお手伝い ( Just do it ! )  
 (カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)  
 【今月の一冊】 日本人へ～リーダー篇  
 塩野七生 著 文春新書  
 ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/prime21/>

発行日 2011年1月1日 Vol.99  
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション  
 代表取締役 渡邊敏徳  
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地  
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

## アインシュタインの教え

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

さて、ある調査によると、管理職に必要な能力は、一番が「対人対応能力」、二番目が「総合的判断力」、三番目が「技術的能力」ということが言われています。

何をにおいても“人間関係”が大切だということになります。仕事のみならず、プライベートでも同じです。人間関係の悪い人は成功しない可能性が高いということが言えるのではないのでしょうか。良い人間関係を築く手法を身につけることは、私たちの将来の成功にとってとても大切なものの一つになります。

人は一人では生きていけません。周りの人の協力なしに成功することはできません。管理職でも、周りの助けを上手に得ることができる人が成功しています。

ある時、アインシュタイン博士のお弟子さんが尋ねました。

「先生、人は何のために生きているのでしょうか？」ととても難しい内容です。

しかし、博士はあっさりとかう答えたそうです。

「決まっているじゃないか。他人のためだよ」と。

私たちは他人のために何かを提供して報酬を得ています。与える量が多ければ多いほど、得るものも多くなります。

お釈迦様は「善因善果、悪因悪果」と言っています。良い原因があれば良い結果があり、悪い原因があれば悪い結果が出るということです。

年の初めに、今現在得ているものは正に私が与えるものに比例しているということに目を向けてみたいと思います。

仏教には、「無財の七施」という教えがあります。与えるものがなくても、実は与えることができる。そして、良い人間関係を構築するものとして、誰にでもできるということです。

私たちは、当たり前のことを当たり前に行うことが、大切だということは頭ではわかっています。毎朝、ジョギングすれば身体にいいとわかっているのに、三日坊主で終わってしまいます。当たり前のことを当たり前に行うことは難しいものです。一年をスタートするにあたり、いろんな目標をたてたと思いますが、覚悟と勇気を持って実行していけたらと思います。

## ガンバレ日本！

世界を震撼させたリーマン・ショックから二年と数ヶ月、日本経済は円高デフレ不況に悩み続け、政治は日本の新しい方向性を見いだせずにあります。この先もデフレ経済が進むことを前提に考えると、「世界大不況」や「日本経済破綻」などと書き記した書籍やマスコミ報道が私たちを精神的に萎縮させ、そして悲観的にさせてしまいます。

ニューヨークのウォール街では、金融マンの冬のボーナス額がリーマン・ショック前の好景気のときの水準に復活しつつあるとのこと。世界経済は大きく動き始めています。あらゆるビジネスに共通する、人、モノ、カネが大きく動くときはチャンスが訪れるということを見ると、日本にも大きな節目が来ていることになります。

今年は統一地方選などたくさんの選挙が控えています。私たちの未来のための意思表示をしっかりと示していかなければなりません。

暗闇の中を歩いていると誰もが不安になりますが、光のある道が示されればゆっくりでも歩く勇気が湧いてきます。リスクをとるリーダーの出現を期待します。ガンバレ日本！

### 【無財の七施】

- 1、慈眼施(じがんせ)・・・優しい温かいまなざしで人に接する。
- 2、和顔施(わげんせ/わがんせ)・・・優しいほほ笑みをもって人に接する。
- 3、愛語施(あいごせ)・・・優しい言葉をかける。
- 4、捨身施(しゃしんせ)・・・肉体を使って人のため社会のために働く。
- 5、心慮施(しんりよせ)・・・心から共に喜び共に悲しみ、感謝する。
- 6、床座施(しょうざせ)・・・自分の座席や地位を譲る。
- 7、房舎施(ぼうしゃせ)・・・雨露をしのぐ場所などを分け与える。

